

2011年度

科目名	音楽科教育法				
担当教員	阪口 むつみ				
配当	教福3(4213)		コード	22060	
開期	前期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	小学校音楽科の課題と担当教員に求められるもの				
目的と概要	小学校音楽科について、まず学習の目標、内容等を示した「学習指導要領(音楽)」を読み解く。その後、共通教材の意義を考えるとともに、第1学年から第6学年までの共通教材24曲について分析しながら表現を主とした指導法に取り組む。また、鑑賞領域については、児童に対するその教材の適切性や何を聴取すべきかについて考え、指導者としての聴取力を養うための実践に進める。さらに、音楽史を踏まえ、日本の伝統音楽、郷土の音楽を取り上げる。				
成績評価法	授業や学習への積極性30%、試験70%で評価する。				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	音楽科は児童に内在する音楽能力・感性を引き出し育む教科であり、その指導者には知識だけでなく豊かな感性が必要になることを留意して欲しい。また、配布するプリントは次回の授業の際に使うため、予め目を通しておくこと。実技用プリントに関しても同様。				
講義計画					
1. オリエンテーション 小学校「音楽科」と授業の内容・進め方について 2. 小学校学習指導要領（音楽）を読み解く 3. 音楽科の課題と担当教員に求められるもの 4. 共通教材の分析・理解・指導 5. 共通教材の分析・理解・指導 6. 低学年の指導案と活動事例 7. 共通教材の分析・理解・指導 8. 共通教材の分析・理解・指導 9. 共通教材の分析・理解・指導 10. 共通教材の分析・理解・指導 11. 音楽史概要、伝統音楽の理解 12. わらべうた、郷土芸能に見られる音楽的特徴、及び授業実践例 13. 郷土芸能の実践 14. 鑑賞と鑑賞教材について 15. まとめ					